



【コラボ第3弾】

梅花女子大学×大阪青年会議所 ～ダイバーシティ経営を考える～

梅花女子大学は、2020年度から「人と社会が明るくなる大阪の創造」をめざす一般社団法人 大阪青年会議所と、産学連携を推進。これからの未来を担う女子大学生ならではの感性でさまざまな提案・提言をしてきました。

今回はコラボ第3弾として、日本文化学科2年生が「問題発見・解決セミナー」の授業で、企業のダイバーシティ経営をどのように進めるかというテーマに取り組みました。

ダイバーシティ経営とは

立場・信条・性別・人種にかかわらず多様な人材をいかし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営のこと。

今回の連携では、ダイバーシティ経営についてより多角的に考えるためにも、若手社員が先輩社員に助言を行う「リバースメンタリング」という仕組みが取り入れられ、学生たちの率直な意見を、新たな価値観として受け止めたいという心意気をもつ21の企業の経営者が参画。

プログラム内容

[Day1] 7月20日 (木)

学生による「ダイバーシティ経営」についてのグループ発表、学生・経営者の意見交換

[Day2] 7月27日 (木)

LGBTQ就活支援サービス 株式会社JobRainbow 代表取締役CEO 星 賢人氏による講演会
講演を聞いて、学生・経営者によるディスカッション



今回の取り組みは、経営者に対してプレゼンテーションを行い、さらに経営者と共に「ダイバーシティ経営」について積極的に意見交換をするなど貴重な機会となりました。

また、今回の取り組みの成果として

オープンキャンパスの企業版<オープンカンパニー>を実施する運びとなりました！

産学連携プロジェクト概要

実施期間：2023年6月15日～7月27日（全7回）

参加学生：文化表現学部 日本文化学科2年生（約45名）

梅花女子大学は、「女性ならではの感性」をいかした産学連携を推進。さまざまな企業・社会の課題解決に積極的に取り組んでいます。その数は、311件にのぼります。学生たちの学びや気づきからでたアイデアが、新しい時代の価値観を創出し、進化し続けております。ぜひ、今後もお期待ください。

報道関係者さまにおかれましては、ぜひ取材などで取り上げていただけますと幸いです。